広陵町
こども計画

令和８年度～令和 11 年度

こども版



令和８年３月

広陵町

なぜ、こども計画を作ることになったのか

「こども基本法」という法律が新しく作られ、憲法やこどもが大切にされるための世界の約束の考えをもとに、広陵町では「こどもまんなか社会」になるための計画を作ることとしました。

こどもまんなか社会とは

全てのこどもが元気に成長できて、みんなが幸せになれる社会のことです。

こどもの権利条約

こどもが大切にされるための世界共通の約束です。
主には、



❶ 差別の禁止

男の子・女の子、国、病気のあるなしなどで不公平に扱ってはいけません。

❷ こどもの最善の利益

何かを決めるとき、こどもにとっていちばん良い事は何かを最初に考えます。

❸ 生命・生存の発達に対する権利

こどもが安心して、生きて、育つことが守られます。

❹ こどもの意見の尊重

こどもが自分の気持ちや考えを言うことができて、大人はきちんと聞かなければなりません。

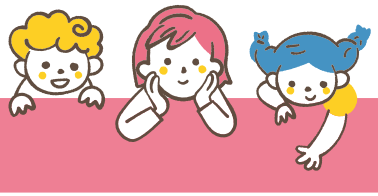


このような特に大切な４つのきまりがあります。

こどもの権利

「こどもの権利」とは、こどもの人権のことです。人権とはなにかをしたらもらえるとか、なにかしないと取り上げられるものではありません。（ユニセフより）

つまり、こどもも大人も、生まれた時から「ひとりの人間」として同じように人権を持っているということです。



こども計画ってなに？

全てのこどもや若者の心も身体も幸せな生活や、自分らしく生きていけるようになることを一番に考える「こどもまんなか社会」をめざすための計画です。

こども計画の特徴

こども計画には、こどもたちに「広陵町がこうなってほしいな」と思うことについてワークショップやアンケートをしたときの意見を取り入れています。

広陵町こども計画が大切にする考え方

町のめざす姿として大切にする考え方を定めました。



こどもたちとつくる
地域の未来



広陵町は、こどもたちと地域で未来をつくり、全てのこどもが安心して育ち、希望をもって成長できるまちをめざします。

具体的にはどのような取組をするの？

こどもたちの意見を反映し

4つの基本目標ごとに、それぞれの取組を進めます。

「こどもたちの意見」は、令和7年7月26日、8月2日に開催したワークショップで提案されたものです。

1 こどもが主役となるようにする

《主な取組》

- こども・若者が、安心して意見を言える場や意見できる機会をつくります。
- 放課後等にこどもが安全・安心して過ごせる居場所をつくります。



こどもたちの意見

遊ぶ場所が少ない！

雨の日でも遊べる居場所の確保を進めていきます。

2 こどもが自分らしく育つようにする

《主な取組》

- 家庭や学校で、こどもが自分らしく成長できるようにします。
- こどもが自分らしく育っていけるような地域づくりを進めます。
- くらしで困っている家庭を手助けします。



こどもたちの意見

学校全体が古くなっている

古くなった所を修理したり交換したりして、みんなで長い間安全に使えるようにしていきます。

こどもたちの意見

体育館が暑い

熱中症対策として、小学校・中学校の体育館に冷房をつけて暑い日にも使えるようにしていきます。

3 こどもも親も困っている人を助けられるようにする

こどもたちの意見「わたしたちが思うしあわせな町」～
「だれもが優しくて安全な町」～となるために

《主な取組》

●いつでも気軽に相談できる場所やしくみをととのえ、情報発信もがんばって、だれひとり取り残さない支援を目指します。

●安心してこどもを産み、こどもが元気に成長できるように、お母さんとこどもの健康を守ります。

●発達に手助けが必要なこどもや、ひとり親の家庭などに対しても、こどもがすこやかに育つように支えます。



4 子育てと仕事を両立できるようにする

こどもたちの意見「わたしたちが思うしあわせな町」～
「みんなで支え合って生活していける町」～となるために

《主な取組》

●仕事をしている人も、安心してこどもを育てられるような環境をつくります。

●父親も子育てに参加しやすい取組を進めます。



特に力を入れる取組は？

1 「こどもまんなか社会」に向けた仕組みづくり

こどもたちの意見「わたしたちが思うしあわせな町」～
「住んでいる人の意見が反映されやすい町」～となるために

《主な取組》

●「こども計画」では、こども・若者の意見を大切にします。全てのこどもが、未来に夢や希望を持ち、元気で幸せに成長できる社会を目指します。

●「こどもまんなか社会」を実現するために、こどもの声を、町に取り入れていきます。



2 ヤングケアラーや暮らしに困っている家庭を手伝えるよう助けていく

こどもたちの意見「わたしたちが思うしあわせな町」～
「町民が安心して快適に暮らせる町」～となるために

《主な取組》

●ヤングケアラーや、暮らしに困った家庭には、いろいろな社会的な理由があります。町の人みんなで理解し、みんなで助けていきます。

●貧困のくり返しを止めて、早い時期に支援につなげていきます。

●こどもが安心してすごせる居場所づくりなどの事業を進めます。



3 支援につなげるお知らせをみんなにわかるように伝えていく

こどもたちの意見「わたしたちが思うしあわせな町」～
「誰もが相談や安心できる町」～となるために

《主な取組》

●相談先や相談相手がいないこども・若者にも、相談につながるよう、情報発信を進めます。

●広陵町の公式 LINE などを使って、地域で子育てに協力することの大切さや、こどもをまんなかにした地域社会の大事さを伝えていきます。

おもなフィードバックについて

フィードバックとは、「こども計画策定ワークショップ」でこどもたちから提案のあった意見等について、町でどのように対応するかを示すものです。

困りごとへの解決策・意見		広陵町の回答
体育館が暑いので、クーラーを設置してほしい	▶▶	こどもたちの身体のことを考え、令和８年度から小・中学校の体育館でエアコン設置工事を始める予定です。
ショッピングモール内など室内で遊べるところを増やしてほしい	▶▶	友だちとおしゃべりしたり、ゆっくり過ごせる場所を増やすために、町内の施設に協力してもらい土曜日・日曜日・祝日に無料で利用できる「こどもの居場所」を作っています。



おもなパブリックコメントについて

パブリックコメントとは、「こども計画」のような町に住む人たちに関わる制度などを作るときに、町民から意見をいただき、それを反映することでより良い制度にしていくための手続きです。

ご意見・ご提案等		広陵町の回答
きつねさん公園沿いの道路のＴ字路で事故が起こりそうなケースを複数回目撃しているため、信号と横断歩道を設置してほしい。	▶▶	事故が起こりそうなケースを目撃されて、怖い思いをされたと思います。警察によると、このＴ字路の近くにはほかの信号機があり、ここに新しく信号機をつけると信号を見間違えることがあるため、信号機をつけることはできないとのことでした。しかし、事故が起こりそうなケースがあるとのことなので、「交差点でしっかり周りをみる」ことをもっと広めていきます。
気温が高い日や低い日、雨の日でも遊べる室内遊び場がほしい。	▶▶	いつでも遊べる場所があれば、より楽しくなると思います。気温や天気を気にせず利用できる『こどもの居場所』を特別養護老人ホームおきなの杜とエリシオン真美ヶ丘で土曜日・日曜日・祝日に開いています。ぜひ遊びに来てください。

住民対話で、
明日をつくる。

広陵町こども計画
（令和８年度～令和 11 年度）

こども版

発　　行：広陵町
編　　集：広陵町教育委員会事務局こどもまんなか部こども政策課
発行年月：令和８年３月

〒635-0821 奈良県北葛城郡広陵町大字笠 161 番地２
電　　話：0745-55-6820　　ファックス：0745-54-5324
E-mail：info@town.koryo.nara.jp
ＵＲＬ：https://www.town.koryo.nara.jp/